

## ⑤ 中小企業が行う技術開発、新製品の開発及び新たな事業の分野への進出の推進を図ること

### 【取組の概要】

社会経済情勢が目まぐるしく変化する中、商品等に対する社会ニーズも常に変化し、かつ多様化している。

こうした中、本県経済の中核をなす県内中小企業者が、新たな製品や技術の開発、他業種への進出など、従来の枠にとらわれない、新たな取組を積極的に展開することが重要である。

このため、以下のとおり県内中小企業者の新製品・新技術の開発や新事業分野への進出等の推進に向けた各種事業を実施した。

#### ○ 新製品・新技術の開発、他業種への参入や異業種企業の連携の支援

中小企業等経営強化法に基づく経営革新計画の承認及びフォローアップ、新たな商品の開発や高付加価値化、他地域を含む県内中小企業者の連携に対する支援など、中小企業者の新商品・新サービスの開発や新事業・新分野への進出等に係る取組を支援した。

#### ○ 公設試験研究機関等における研究開発及び研究成果の中小企業への移転等

青森県産業技術センターにおいて、本県の豊富な農林水産資源や地域の特性を活かした研究開発に取り組み、県内中小企業者への技術移転を図ったほか、技術開発や技術指導による新商品開発等の支援を実施した。

【基本方針事業一覧】

No.	事業名	R5事業費 (千円)	R5 新規	担当課等	掲載頁
1	中小企業支援・指導・経営革新計画推進事業	398		地域企業支援課	89
2	あおり商品展開力強化支援事業(再掲)	3,145		地域企業支援課	90
3	あおりクラフト販売体制構築事業	11,452		地域企業支援課	91
4	神戸とつながり発展するビジネス交流推進事業(再掲)	14,173		地域企業支援課	92
5	トップブランド商品創出事業	3,148		食ブランド・流通推進課	92
6	あおり食品産業強化サポート事業(再掲)	3,430		食ブランド・流通推進課	93
7	産地で作る冷凍食品産業振興事業	35,460		食ブランド・流通推進課	93
8	農地活用総合推進費	808		構造政策課	94
9	青森ライフイノベーション戦略推進事業(再掲)	30,789		産業イノベーション推進課	95
	小計	102,803			

## 【 事業概要 】

中小企業等経営強化法(旧中小企業新事業活動促進法)に基づき、県内中小企業者等が新たな事業活動を行うことで経営の向上を図る経営革新計画を作成する際の指導、計画の承認事務及びフォローアップを行った。

## 【 事業実績 】

県が承認した中小企業等経営強化法(旧中小企業新事業活動促進法)に基づく経営革新計画は12件で、国からの依頼に基づくフォローアップ調査は6件実施した。

項目名	4年度	5年度
経営革新計画承認件数	15件	12件
フォローアップ調査件数	6件	6件

(担当課：地域企業支援課 経営力向上グループ)

## 【 事業概要 】

地域資源の発掘から、利活用の検討、商品企画、販路開拓に至る一連の、あおもり商品の「展開力」強化を支援するため、商品提案力向上を図るセミナーの開催や、地域資源の利活用に関する検討会及び専門家派遣を行うとともに、県内中小企業者等へ効果を波及させるため成果報告を行う。

## 【 事業実績 】

県内中小企業者等の地域資源活用や販路開拓スキル向上を目的としたセミナーを3回開催したほか、事業化に向けた個々の課題を解決するため、県内中小企業者等に対して延べ15回専門家を派遣し、新たな取組の支援を行った。

項目名	4年度	5年度
専門家派遣企業数	9者	6者
専門家派遣回数	延べ 25回	延べ 15回
セミナー開催回数	3回	3回
セミナー参加者数	延べ 164名	延べ 122名

（担当課：地域企業支援課 マーケティング支援グループ）

## 【 事業概要 】

本県工芸品の販路拡大による産業振興を図るため、工芸品を販売する実践力を身に付けた「くらふとサポーター」を育成するとともに、ライフスタイルの多様化に対応した商品開発と人々の生活様式の変化に対応した製品の効果的な情報発信ができる県内中小企業者を育成する。

## 【 事業実績 】

首都圏ライフスタイルショップのバイヤーからの助言を受けながら、県内中小企業者の地域資源を活用した新商品の開発を支援するとともに、「作る」以外をサポートする「くらふとサポーター」の育成に向け、販売モデルのブラッシュアップと実践に取り組んだ。

項目名	4年度	5年度
商品開発会等開催回数	4回	4回
くらふとサポーター企画会議等開催回数	4回	4回
新商品開発企業数	6者	5者
販売モデル実践件数	3件	2件

(担当課：地域企業支援課 マーケティング支援グループ)

## 【 事業概要 】

青森と神戸のビジネス交流推進等を目的として、ビジネス相互交流に向けたマッチング、情報発信、ビジネス連携事例の創出等を行う。

## 【 事業実績 】

青森・神戸の企業ニーズ等をヒアリングし、ビジネスマッチングを推進したほか、ビジネス交流の気運醸成に向けたビジネス連携事例の情報発信と交流イベントの開催を行った。

また、県内中小企業者が神戸企業と連携する新規ビジネスプランを公募し、モデルプランを選定した。

項目名	4年度	5年度
ビジネスマッチング実施数	延べ 63件	延べ 58件
青森・神戸ビジネス交流イベント開催回数	1回	1回
新規ビジネスプラン選定・フォローアップ数	6件	6件

（担当課：地域企業支援課 マーケティング支援グループ）

## 【 事業概要 】

本県を代表するトップブランド商品の創出に向けて、継続的に商品開発に取り組む意欲のある食品製造業者に対し、商品開発のコンセプトやターゲットの設定から試作品開発までの包括的な取組を支援する。

## 【 事業実績 】

商品開発の専門家から3者が商品開発に関するアドバイスを受け、3者の商品が店舗やWEB上で販売された。

項目名	4年度	5年度
事業への申込件数	3件	3件
参加事業者数	3者	3者

（担当課：食ブランド・流通推進課 ブランド推進グループ）

## 6

## あおもり食品産業強化サポート事業（再掲）

事業費 3,430 千円

## 【 事業概要 】

本県食品産業の充実強化を図るため、各地域県民局に設置している相談窓口による事業者等への対応や商品開発等に関する研修会の開催等を行う。

## 【 事業実績 】

農商工連携食産業づくり相談窓口を設置し、各種相談に対応した。

また、県内加工事業者を対象に、商品力の向上を図るための研修会を開催した。

項目名	4年度	5年度
相談件数	延べ 221件	延べ 165件
研修会開催回数	2回	2回

（担当課：食ブランド・流通推進課 食品産業振興グループ）

## 7

## 産地で作る冷凍食品産業振興事業

事業費 35,460 千円

## 【 事業概要 】

野菜等の産地と加工事業者が連携し、産地で冷凍する高品質な冷凍食品の開発と販路開拓を支援する。

冷凍食品分野への進出に伴い、加工事業者の冷凍商品の製造に係る機器のリース補助を実施する。

## 【 事業実績 】

産地と加工事業者が連携し、高品質な商品開発に向けた試作と実需者への求評を実施した。

また、県内加工事業者に対し、冷凍商品の製造に係る機器のリース補助を行ったほか、実需者ニーズや冷凍加工技術を紹介するセミナーを開催した。

開発した商品については、3大都市圏で開催された「青森県フェア」等での販売や、展示商談会への参加による求評及び商品提案を実施した。

項目名	4年度	5年度
産地と加工事業者の連携による商品開発支援件数	3件	4件
セミナーの開催回数	2回	2回
リース補助件数	6件	6件
展示商談会参加回数	2回	2回

（担当課：食ブランド・流通推進課 食品産業振興グループ）

## 【 事業概要 】

農業の多様な担い手を確保するため、県内中小企業者等の農業参入を推進するとともに、既に農業参入している県内中小企業者等の農業経営の安定に向けた取組を支援する。

## 【 事業実績 】

構造政策課及び各県民局に相談窓口を設置し、個別相談に応じて栽培技術や支援制度等について助言・指導した。

また、農業参入及び定着のポイントを学ぶための県内中小企業者等を対象とした研修会を開催した。

項目名	4年度	5年度
農業参入等相談件数	21件	14件
農業参入企業訪問指導等件数	0件	4件
農業参入研修会参加企業数	28者	22者

(担当課：構造政策課 農地活用促進グループ)



## 【 事業概要 】

「青森ライフイノベーション戦略アクションプラン」に基づき、同プランに掲げる重点分野（医福工連携の推進、ヘルスケアサービスの創出、モノ・コト健康美容産業の振興）において、ライフ関連産業の成長に向けた取組を実施する。

## 【 事業実績 】

医療や福祉の現場ニーズを学ぶ勉強会等により医療・介護福祉関連機器等の開発を促進したほか、弘前大学COIプロジェクトとの連携等により新たなサービスの創出に取り組んだ。

また、プロテオグリカンやりんごなど、本県地域資源を使用した製品開発や機能性表示食品等の健康志向食品開発に取り組む県内中小企業者を支援した。

項目名	4年度	5年度
医療・介護現場ニーズ勉強会等開催回数	2回	2回
弘前大学COIフォーラム等開催回数	1件	2件
機能性表示食品等健康志向食品の相談対応件数	33件	37件
新たに開発されたプロテオグリカン商品数	24品	18品

（担当課：産業イノベーション推進課 ライフイノベーション推進グループ）

令和5年度に実施した中小企業振興施策を活用した事例紹介  
(青森ライフイノベーション戦略推進事業：なんぶ農援(株)(南部町))

機能性表示食品「飲む、妙丹柿酢」の開発・届出支援

【企業概要】

なんぶ農援(株)では、250年以上前から栽培されている県産の柿を活用した加工品等を製造、販売している。

【経緯と県事業による支援】

新型コロナウイルス感染症の影響で、一部の販路が途絶えてしまったことから、新たな販路開拓のため商品に付加価値を付けたいと考え、機能性表示食品の開発を決意し、県の「機能性表示食品開発モデル商品」に応募し、採択された。

年4回の商品開発会議を通じて、専門家から商品設計やラベル表示、消費者庁への届出手続きについて、助言・指導を受けた。

商品開発会議における検討内容

- ・機能性関与成分を「酢酸」とし、「酢酸」の摂取目安量を勘案しながら、商品の1日摂取目安量、商品の内容量等を設定。
- ・パッケージデザインの選定・パッケージに表示できる文言の確認。
- ・届出資料の作成支援。
- ・届出資料として必要となる機能性関与成分の研究レビュー(※)は県から無償提供。

※機能性の評価の際に、科学的な根拠を説明する手法の一つ。一定のルールに基づき文献を検索し、関与成分に機能性が認められることを総合的に評価する手法。

2月に県が開催した新商品発表会に参加し、完成した商品を報道機関向けにPRした。

<商品開発会議の様子>



<商品概要>

- ・商品名「飲む、妙丹柿酢」
- ・酢酸含有量750mg  
(1日摂取量55mlあたり)
- ・健康機能「BMIが高めの方のBMI、体脂肪率、ウエスト周囲径、内臓脂肪を減らす」

商品設計の相談

- ・商品試作
- ・成分分析
- ・商品設計の決定

- ・パッケージデザイン選定
- ・表示の確認

届出資料の確認